

森林植物園での 環境体験学習の事例

SDGs(エスディーゼズ)＜Sustainable Development Goals＞(持続可能な開発目標)＜国連サミットで採択された国際目標＞の17のうちの1つに「気候変動に具体的な対策」をとるよう、地球温暖化問題・地球環境問題が深刻化する現代において、次世代の子どもたちに対して行う環境教育は、ますます重要になっています。

兵庫県内の小学校3年生で行われる「環境体験事業」で、豊かな自然のフィールドとして森林植物園を訪れる学校が相当数あります。これらの小学校の子どもたちに、植物・森林・自然ひいては地球環境の大切さを感じ取ってもらえる環境体験学習のプログラムを森林植物園は、提供、支援しています。

それらのプログラムを実施して頂くにあたって、いくつかの事例を紹介します。

事例 1 1～2クラスの小学校3年生

＜本園職員による＞

北鈴蘭台駅から本園の無料送迎バスを使って来園(約10分)9:40着
森林展示館前にて「森林のはたらき・温暖化防止」「六甲山の自然」についてプレゼンテーション
「森の中の宝さがし」を本園職員のガイドで実施
昼食・休憩 12:00～12:40
「苗木を育てよう」(アジサイやモミジの植替え)
「森のクラフト」 ＜苗や作品をおみやげに＞
家でも森に思いを寄せられるように
本園14:30発 無料送迎バスにて北鈴蘭台駅へ



事例 2 2～5クラスの小学校3年生＜ボランティアガイドによる＞

観光バスにて来園 9:30 着
森林展示館前にて「森林のはたらき・温暖化防止」「六甲山の自然」についてプレゼンテーション
「森の中の宝さがし」を本園職員とボランティア指導者のガイドで実施
(ボランティア指導者は、クラス1～2人。交通費等必要)
昼食・休憩 12:10～12:50
「苗木を育てよう」(アジサイやもみじの植替え)
「森のクラフト」 ＜苗や作品をおみやげに＞
家でも森に思いを寄せられるように
本園14:40発 観光バスにて帰校



事例 3 3～5クラスの小学校3年生＜教員の指導による＞

事前に下見等により、本園のガイドの研修(約2時間)、ガイドマニュアルをお渡しします。
当日観光バスにて来園、事例2のプログラムを担当職員(1～2名)と教員の先生方で実施

事例 4 1～3クラスの小学校3年生＜近郊地域学校の場合＞

学校からハイキング・徒歩にて来園 9:40着

ボランティア指導者のガイドで、季節ごと(春・秋・冬)の観察を実施

昼食・休憩 12:00～12:40 (ボランティア指導者はクラス2人。交通費等必要)

季節の「草木あそび」・「森のクラフト」

本園14:00発 徒歩にて帰校

※冬の観察後・子どもたちによる「森の研究発表会」を学校にて実施

事例 5 3クラスの小学校3年生＜ネイチャーゲームリーダーによる＞

観光バスにて来園 9:30 着

森林展示館前にて「森林のはたらき・温暖化防止」「六甲山の自然」についてプレゼンテーション
日本シェアリングネイチャーゲーム協会:ネイチャーゲームリーダーによる紅葉散策と「葉っぱのコレクション」など実施

昼食・休憩 11:50～12:20

ゲーム「動物交差点」、「紅葉散策」、「種子を飛ばしてみよう」等実施

クロージング

本園14:10発 観光バスにて帰校

✧ 指導やガイド、プログラム等について、本園にコーディネートを依頼される場合は、お申し込み前に、オンラインやEメール、お電話にてお問合せ・ご相談ください。

✧ 3年生だけでなく、5年生の自然学校や2年生・4年生の校外学習でも

ご利用頂けます。

